

みんなで東北のメンバーを勇気付けよう

横山晃久

3月11日午後3時頃、大きな地震が東北地方を中心にありました。その後、大きな津波や福島第一原発の破損があり、三陸地方は壊滅状態に陥りました。原発からは今でも放射性物質が出ています。

被災地のいわきのセンターからは、30名近く戸山サンライズに避難を続けています。私は今、戸山サンライズに毎日訪問し、いわきのメンバーと話していますが、連帯感や地域性をもつて大切にしているのがひしひしと伝わってきています。地震や津波により被害を受けた地域の復興は長い時間がかかると思いますが、原発破損による汚染地域の復興には数十年ほどかかると言われていました。

私は、東京のメンバーは今こそ原発について考えるべきだと思います。というのは、東京の需要電気の1/3を作っているのは福島なのです。その福島を始めとする東北の人たちが今、放射能汚染で地元に住めなくなり、命が危ぶまれているのです。今こそ、皆さんが復興に対してできることをしましょう。

HANDS 世田谷としても、精力的に街頭に立ち、募金活動をしております。とかく障害者の支援は後回しにされています。私たちの募金が、被災した障害者の仲間たちに使えるようにしていくことこそが、私たちの考えです。みなさん力を合わせてできることは最大限やってみましょう。

【義援金募金活動の様子】

